

# 京都ビジネス交流フェア2011

2月17, 18日 於 パルスプラザ

㈱オージーファイン 小川 保弘

2月17日、18日の両日にわたり、パルスプラザにおきまして京都ビジネス交流フェア2011が開催されました。渉外連携委員会では、機青連のブース出展を担当し、展示物選びやパンフレットの作成など準備を行ってきました。また、昨年引き続き今年も機青連会員企業を同じ通りに集めた「機青連通り」を設置することとなり、会員企業の連携力のアピールと集客の相乗効果が出せるよう、出展企業に向けた説明会を行うなどして、当日を迎えました。

展示会の幕開けに当たって行われたオープニングセレモニーでは、出展者代表として名高代表幹事が出席し、他の参列者と共に開会のテープカットを行いました。機青連ブースでは、五重塔、銚、ECO 自転車の展示をし、機青連の共同製作品を紹介したパンフレットを配布しました。来場された方に機青連の活動や、来期で創立30周年を向かえる会であることを説明して、信頼の置ける中小企業の集まりであることをアピールし、同時に来場者が機青連のことを知っているかどうかを質問し、機青連の知名度を調査しました。

17日は、会場内で有限会社木村技研の木村さんが、産学連携で開発した分析機器の成果発表をされ、多くの聴講者が集まりました。また、機青連ブース周辺では「機青連通り」をPRするパンフレットを配布し、機青連の会員企業を広く来場者にPRすることが出来ました。

今回「機青連通り」に出展された会員企業に感想をうかがったところ、「機青連通り」に参加したことで周囲の会員企業と情報交換できたり、他社から紹介してもらい集客に効果があったという声がある一方で、これまでよりも機青連以外の出展企業とのコミュニケーションを取る機会が減ったという感想も聞かれました。機青連の知名度調査と併せて、今後会員企業にメリットのある出展のあり方について考える材料としたいと思います。

